

# 岐阜商工会議所

## 令和5年度経営発達支援計画評価委員会

### 議事録

- 日時 令和6年3月7日(木) 13時00分～15時00分  
場所 岐阜商工会議所 4階 常議員会室  
議題 (1) 委員長選任について  
(2) 経営発達支援計画について  
(3) 経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について  
(4) 経営発達支援計画策定の総評について  
(5) その他

#### 参加者 ○委員 5名

岐阜商工会議所 副会頭	廣田 孝昭 氏
岐阜県商工労働部 商工・エネルギー政策課長	野中 正史 氏
(代理出席 課長補佐兼団体支援係長)	小椋 一平 氏)
岐阜市経済部 商工課長	松田 耕治 氏
(代理出席 経営支援係 主任主事)	棚村 湧太 氏)
大野経営労務事務所 代表	大野 実雄 氏
名古屋税理士会 岐阜北支部長	川崎 賢二 氏

#### ○事務局 18名

岐阜商工会議所 専務理事	森 健二
同 事務局長	船田 淳
同 中小企業相談所長	鬼頭 貴士(法定経営指導員)
同 中小企業相談所振興部長	加藤 量子
同 中小企業相談所支援部相談課長代理	小島 清隆(法定経営指導員)
同 中小企業相談所振興部産業振興課長代理	野倉 拓也
同 中小企業相談所支援部支援課長代理	浅野 冴香

#### 経営支援員

山田成大、村上慶伍、三浦隆史、磯野拓実、笹野詩織、野村文久、竹市 亨、  
大澤将人、今井雅浩、深見容弘、日比野康範

内 容

議題（１）委員長選任について

廣田委員を委員長に選任。

議題（２）経営発達支援計画について

事前に説明を実施しており、割愛。

議題（３）経営発達支援計画の各事業に対する事業評価・提言について

事務局より、資料３に基づき実績報告の概要について事業成果事例を交え説明を行い、各事業毎に委員が協議し、達成度に対する ABCD 評価および評価結果に基づく提示、今後の展開・改善点等について意見が出された（詳細は下記評価表のとおり）。また、事業評価対象ではない「8. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること」「9. 経営支援員等の資質向上等に関すること」、「10. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること」、「11. 地域経済の活性化に資する取組に関すること」について概要を説明した。

<評価表>

区分	実施内容	事業の目標	評価	提示	今後の展開 改善点等
I. 経営発達支援事業の内容					
3-1. 地域の経済 動向調査に 関すること	国が提供するビッグデータの活用/中小企業景況調査/独自景況調査の実施/日商 LOBO 調査/他機関の調査報告資料の収集・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域経済動向の正確な分析の実現</li> <li>・国の提供するビッグデータ活用による分析と既存の管内景況調査とを合わせた総合的な分析結果を管内小規模事業者の事業計画策定に活かし中長期の経営ビジョンを持つよう支援する。</li> </ul>	A	ウ	中小企業景況調査と独自景況調査の回収率が僅かに目標値を下回ったが、全体的に達成率が高いことは評価できる。回収率 100%に向けた改善に取り組んでいただきたい。
3-2. 需要動向調査に 関すること	展示会・商談会・各種イベント会場における商品アンケート調査/日経テレコンデータ活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・客観的な需要動向データを収集・整理・分析して事業者提供し、真に消費者ニーズを踏まえた事業計画策定、販路開拓支援を実現する。</li> </ul>	A	ア	商品アンケート調査対象事業者数の目標達成率が 270%であり、今後も継続してほしい。
4. 経営状況の 分析に 関すること	経営分析を行う事業者の発掘/経営分析の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者自身が認識していない、あるいはまだ顕在化していない経営上の強みや弱み、問題点や根本的な経営課題を抽出できる経営分析を実施する。</li> <li>・分析においては、支援員の主観やスキルの差に影響を受けない様、定型フォーマットを活用し正確な分析を実施する。</li> </ul>	A	ア	どの評価事業も定量目標は達成しているが、昨年対比で見ると 67%~80%程になっている。要因の分析が必要である。セミナーは開催後のフォローが極めて重要であり、成功事例に繋げてほしい。

5. 事業計画策定支援に関すること	事業計画の策定支援/創業支援の実施	・補助金申請や資金調達のための場渡り的な事業計画策定ではなく、経営分析によって抽出した経営課題に対し、目標の姿やそこにいたるまでの改善等の具体的なアクションも踏まえた事業計画策定支援を実施する。	A	ア	定量目標を達成できていることは評価できる。近年創業の機運が高まっており、事業計画策定に留まらずフォローにも注力をお願いしたい。
6. 事業計画策定後の実施支援に関すること	定期訪問や電話・メール等でのヒアリングによる進捗状況の把握と見直し支援/創業計画策定後の実施支援	・事業計画の遂行が後手に回りがちな小規模事業者に対し、定期フォローにより計画遂行意欲の向上を図るとともに、適時計画内容変更の有無を見極め、必要に応じて専門家と連携しながら問題解決を行い、計画遂行をフォローアップしていく。	B	ウ	フォローアップ延回数目標達成率がC評価であるが、他の事業がA評価であるため、改善の期待を込めてB評価とする。岐阜高島屋撤退もあり、中心市街地巡回フォローへの体制を整えてほしい。
7. 新たな需要の改悪に寄与する事業に関すること	展示会出展事業/商談会参加事業/商店魅力発掘事業/合同記者発表会等のメディアへの情報発信による販路拡大事業/ECサイトへの掲載による販路拡大事業	・小規模事業者が不得手としている販路や販売チャネル開拓に対し、当所がもつ各種メディア等とのネットワークやスケールメリットを活かした商談会、展示会などを活用し、販路開拓、情報発信の一助となる事業を展開していく。また参加事業者増のために、支援員一人ひとりが事業に対する理解度を深め、訴求力向上を図ると共に、事前セミナー等で事業者のブラッシュアップ支援を行う。加えてイベント終了後の事業者の成果を把握し、分析改善を実施していく。	B	ウ	展示会、まちゼミおしえ店長サンの参加事業者数が定量目標未達であるが、昨年対比を見ると、どちらも改善傾向にあり、継続すれば目標達成に近づくため、今後も改善を重ね取り組んでほしい。合同記者発表会はメディアの掲載率も高く、売上への貢献が顕著に出ていることは評価できる。記者との良い関係を継続していただきたい。

【評価基準】

- A：目標を達成することができた（100%）
- B：目標を概ね達成することができた（80%～99%）
- C：目標を半分程度しか達成することができなかった（30%～79%）
- D：目標をほとんど達成することができなかった（30%未満）

【評価結果に基づく提示】

- ア：事業継続      イ：事業廃止
- ウ：事業改善      エ：代替事業（新事業）への必要性

#### 議題（４）経営発達支援計画の総評について

事務局より各発達支援事業の実績報告と併せて、重点的な事業支援事例を6事業分と個社支援成果として各経営支援員の支援事例12件を提示した。うち竹市経営支援員と浅野経営支援員より創業に対する伴走支援の事例報告を行った。加えて、近年機運の高まっている創業・スタートアップ支援について、岐阜市との連携事業の展開を担当の三浦経営支援員より説明した。

これらの事例報告を踏まえ、大野委員より「非常に多くの事業で成果を出していることは評価に値するが、全ての事業において、例年と同じことをするのではなく、更なるブラッシュアップ・改善に取り組むことが重要である」とのご意見をいただいた。

総評として廣田委員長より、今後の経営発達支援事業に取り組む際の姿勢として、①常に事業のブラッシュアップを意識すること。②管内事業者の声を良く聞き、潜在的な課題を発掘し事業に繋げること。③商工会議所の信用力を活かし、支援機関としての自信と誇りをもって取り組むこと。以上3点に努めるよう要望された。

#### 議題（５）その他

なし

以 上